

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-001	事務事業名	交通安全施設設置（地域整備事務所）	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業		
1	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7				
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進					
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	交差点改良工事や歩道改良、防護柵、道路標識、道路照明灯、道路反射鏡、道路区画線などの交通安全施設の設置を行う。  (令和4年度実績) 要望等対応件数 1,843件			事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	交通事故件数や市民からの施設設置要望等を勘案し、必要性の高い箇所を精査したり、定期的なパトロールを実施し、道路施設の被害を未然にかつ最小限に防ぐなど、効果的・率的に交通安全施設の充実・更新を行った。  今後とも交通管理者等と連携しながら、道路管理者として必要な交通安全施設の設置など交通安全対策を進め、歩行者・車両等の安全を図る必要がある。			
				うち一般財源		249,696	292,218	281,600				
				主な 内 訳	交通安全施設維持 管理計画等委託料	8,648	5,430	7,500				
					交通安全施設設置工事費	231,794	278,146	274,100				
					照明ポール等資材購入費	9,254	5,085	0				
					負担金	0	3,557	0				
人件費(b)				53,300	61,664	49,248						
年間経費(c)=(a)+(b)		302,996	353,882	330,848								
No.	事業番号	019-002	事務事業名	舗装補修マネジメント事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業		
2	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7				
	取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進			主な取組		公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進					
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	市内の幹線道路等（約323km）について、道路舗装面のひび割れ等の定期的な調査（路面性状調査）を行い、損傷が進行する前に計画的に補修する予防保全の概念を取り入れた維持管理を進める。 【ひび割れ等の定期的な調査】 平成22年度以降、5年に1度の頻度で実施。直近では令和2年度に実施した。 【補修箇所】 交通量の多い緊急交通路や幹線道路を中心に、4km/年を目標に舗装補修を実施。			事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	国費や令和8年度までの時限措置となっている公共施設等適正管理推進事業債を充当し計画的に事業を推進している。これらの財源を積極的に活用して、令和4年度は当初目標の延長4kmを上回る延長約8.5km（令和4年度末時点 発注へ入）の道路で舗装補修を実施した。個別施設計画に基づき事業を推進し、将来にわたる維持管理コストを縮減することができた。			
				うち一般財源		834,513	805,238	1,155,400				
				主な 内 訳	計画策定等委託料	62,177	43,525	77,000				
					舗装補修工事	772,336	761,713	1,078,400				
					人件費(b)		73,800	82,656				90,882
					年間経費(c)=(a)+(b)		908,313	887,894				1,246,282

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-003	事務事業名	一般道路新設改良（地域整備事務所）	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業		
3	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進				
	事業内容			投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
3	車両や歩行者等の安全な通行と利便性向上のため、狭い道路については、道路擁壁の改良や道路と縦断的に隣接している水路の暗渠化など、道路の拡幅を行う。  (令和4年度実績) 道路改良工事延長 116m	事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	市民からの要望等を勘案し、必要性の高い箇所から路面の改良などを行い、通行の安全や通行空間を確保することで、効果的・効率的に事業を実施した。 また、令和4年度から令和6年度にかけて、広域緊急交通路に指定されている路線に対し、出水時の土砂流出などによる通行止め被害を防ぐことを目的とした道路法面対策事業を実施している。 危険度や改良工事による利便性の向上程度等を考慮しながら道路擁壁改良や水路の暗渠化、側溝の勾配不良改善など事業を推進することは、通行安全の確保だけでなく生活環境にも寄与するなど効率的であるため、引き続き当該事業を行っていく必要がある。					
		うち一般財源		43,315	56,573	109,200						
		主な内訳	道路測量等設計等委託料		5,255	6,488						2,000
			道路新設改良工事		22,398	50,085						107,200
			負担金		2,901	0						0
			土地購入費		12,245	0						0
			消耗品費等		516	0						0
		人件費(b)		8,200	17,056	19,440						
年間経費(c)=(a)+(b)		51,515	73,629	128,640								
No.	事業番号	019-004	事務事業名	舗装補修	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業		
4	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進				
	事業内容			投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
4	既設道路の舗装について、道路パトロールや市民からの要望等をもとに、現場確認を行い、緊急性の高い箇所から速やかに補修を行う。  (令和4年度実績) 要望対応件数 1,015件	事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	舗装の損傷箇所について、緊急性の高い箇所から速やかに舗装補修を行った。また、点検・補修等のコスト縮減や効率化に向け、新技術を活用した維持管理について、有効性検証等を進めた。 社会基盤である道路の舗装補修は、安全・安心のため道路管理者として最も重要な事業であるため、舗装補修マネジメント事業とあわせて引き続き事業を実施していく必要がある。					
		うち一般財源		830,076	656,132	703,766						
		主な内訳	舗装補修工事設計		2,072	1,992						12,000
			舗装補修工事費		809,129	627,897						673,766
			負担金		18,875	26,243						18,000
		人件費(b)		73,800	53,382	57,024						
年間経費(c)=(a)+(b)		903,876	709,514	760,790								

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-005	事務事業名	河川水路維持（地域整備事務所）	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業		
5	基本計画	戦略	—			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	—				
	2025 の施策 との関連	施策	—				ターゲット	—				
		取組の方向性	—				主な取組	—				
	事業内容					投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	管理河川及び水路の構造物の修繕及び除草・清掃・浚渫等を行う。 （令和4年度実績） 要望対応件数 179件					事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	令和4年度は、市民からの要望等を勘案し、水災害の未然防止や水路の老朽化対策等のため、5件の水路の整備工事や補修等を行った。また、水災害の被害を未然にかつ最小限に防ぐため、大雨時に備え調整池に監視カメラの設置を行った。 市街地における小規模な管理河川や水路については、昨今のいわゆるゲリラ豪雨等の水災害等の観点からも、河川水路等の維持管理は重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。	
						うち一般財源		4,489	10,600	15,446		
						主な 内 訳	水路構造物ほか修繕料等		1,970	860		1,896
							浚渫等委託料		1,067	1,595		1,800
							水路等整備工事費		1,012	7,763		11,200
							調整池観測局盤 通信回線使用料		314	362		550
維持補修用原材料費							126	20	0			
人件費(b)						4,100	4,100	4,050				
年間経費(c)=(a)+(b)		8,589	14,700	19,496								
No.	事業番号	019-015	事務事業名	道路構造物アセットマネジメント事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業		
6	基本計画	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7				
		取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進				
	事業内容					投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	計画的な道路の維持管理を行うため、道路を構成する構造物（ボックスカルバート、案内標識等）について個別施設計画に基づき、点検・診断・措置（補修・更新）・記録のメンテナンスサイクルを実施する。 （参考：道路構造物と管理施設数） トンネル 2箇所 ボックスカルバート（大型） 6箇所 ボックスカルバート（小型） 32箇所 案内標識（門型） 70基 案内標識（大型） 1,945基 道路照明施設 16,646基 遮音壁 8箇所					事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	令和4年度は、道路照明灯約600基、遮音壁3箇所の点検業務を実施した。また、道路照明灯更新工事を61箇所で行った。個別施設計画で更新が必要と位置付けた施設について、予防保全型の事業を推進したことで、将来にわたる維持管理コストを削減することができた。 また、大阪府都市基盤施設維持管理データベースシステムを活用し、施設情報や点検結果を一元的に管理することにより、データ分析や情報更新の時間短縮につながり、利便性が向上した。	
						うち一般財源		234,247	144,899	265,116		
						主な 内 訳	各種調査委託料		96,096	79,548		119,816
							整備工事費		113,718	76,202		111,916
							使用料及び賃借料		120,371	68,543		152,000
							負担金及び通信運搬費		0	0		0
備品購入費							33	154	1,200			
人件費(b)						125	0	0				
年間経費(c)=(a)+(b)		49,200	41,984	45,360								
年間経費(c)=(a)+(b)		283,447	186,883	310,476								

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-020	事務事業名	泉北ニュータウン道路舗装更新事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
7	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
		取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	事業内容					投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見		
	老朽化が進んでいる泉北ニュータウン内の道路舗装について、計画的に舗装更新を実施し、舗装の長寿命化と予算の平準化を図るとともに、安全・安心な道路空間を確保する。 【対象道路】 ・地区幹線道路 (約80km) 主にバス等が通行する道路や歩道がある道路等、道路幅員が概ね6m以上の道路 ・生活道路 (約120km) 主に道路幅員が6m未満の住宅地内の道路					事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	財源に交付税措置のある公共施設等適正管理推進事業債の活用や占用户工事と連携した取り組みを行うなどして、事業を推進している。 平成28年度を初年度とし、対象路線の舗装更新を順次進めているが、現在の事業進捗は、地区幹線道路約29%、生活道路約28% (令和4年度末時点 発注ベース) となっており、計画的に事業を実施している。 今後も引き続き当該事業を推進する必要がある。
						うち一般財源		261,945	268,242	265,000	
						主な 内 訳	舗装更新設計委託	98,844	31,041	30,600	
舗装更新工事							18,334	6,134	5,000		
舗装更新負担金							188,364	184,209	173,000		
							55,247	77,899	87,000		
人件費(b)						32,800	36,162	30,294			
年間経費(c) = (a)+(b)		294,745	304,404	295,294							
No.	事業番号	019-022	事務事業名	特殊車両通行許可事務	所管局	建設局	所管課	路政課	分類	B 法定義務等事業	
8	基本計画	戦略	—			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	—			
	2025 の施策 との関連	施策	—				ターゲット	—			
		取組の方向性	—				主な取組	—			
	事業内容					投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見		
車両制限令に規定の車両の幅・長さ・高さ・重さ等の最高限度を超える車両の通行について、通行許可書の発行を行う。 他の道路管理者からの通行協議に対し回答する。					事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	道路の構造を保全し、交通の危険を防止することを目的とし、特殊車両の通行許可、協議回答を適法、的確に実施している。また、協議回答に係るFAX受信は全て電子化し、送信に関しては内容を精査して使用枚数を削減するなど、事業の効率化を図っている。 (通行許可及び協議回答 約5,700件/年)	
					うち一般財源		5,141	5,261	5,569		
					主な 内 訳	報酬	4,222	4,283	4,271		
						インターネット回線使用料	81	82	93		
						その他 (消耗品等)	838	896	1,205		
					人件費(b)		23,780	23,780	23,490		
年間経費(c) = (a)+(b)		28,921	29,041	29,059							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-029	事務事業名	法定外公共物管理事務	所管局	建設局	所管課	法定外公共物課	分類	B 法定義務等事業			
9	基本計画	戦略	—			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	—					
	2025 の施策	施策	—				ターゲット	—					
	との関連	取組の方向性	—				主な取組	—					
	事業内容			投入量 (単位: 千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見						
9	法定外公共物の財産管理者として、使用許可、用地処理、境界確定等、適正な管理を行う。 ①電気・ガス・水道等の法定外公共物の使用許可に関する事務 令和4年度新規許可件数 280件 ②売り払い等の用地処理に関する事務 令和4年度売払い実績 20件 1226.79㎡ 30,502,087円 ③境界確定協議に関する事務 令和4年度境界確定協議件数 234件 令和4年度謄抄本交付件数 127件 令和4年度情報提供件数 1,455件			事業費(a)			18,346	18,637	20,739	従前は、未利用地を売却する際に不動産鑑定士に鑑定を依頼していたため、狭小土地の売却が多い現状では、売却収入より鑑定費用が高額となるケースが多々あった。令和3年度より鑑定士によらずに評価することで、鑑定費用を不要とし、また不法占拠案件については、事前に土地価格を先方に提示できることとなった。このことにより、撤去指導だけでなく私下交渉も行うことができるようになり、未利用地等の売却促進（売却代金増、維持管理費減）につなげることが可能となった。 売却実績：令和2年度 14件 19,149千円 令和3年度 16件 21,511千円 令和4年度 20件 30,503千円 また、コロナ感染対策として、郵送による申請書類の受付や現場立会の分散による密の回避を行うなどの改善を行っている。引き続き、申請書類の受付等について、電子申請システムの活用により更なる業務の効率化・サービスの向上を図っていく。電子申請受付は令和4年度から開始し、令和4年度の実績は19件。			
				うち一般財源			12,255	12,324	14,649				
				主な内訳	法定外公共物管理台帳作成業務等委託料			8,614	8,312				9,650
					報酬・期末手当			7,172	7,219				7,506
					情報システム機器借上料			1,026	1,026				1,026
					損害賠償金			0	0				0
					その他(消耗品費等)			1,534	2,080				2,557
				人件費(b)			99,800	99,900	98,900				
年間経費(c)=(a)+(b)			118,146	118,537	119,639								
No.	事業番号	019-030	事務事業名	内川排水機場維持管理	所管局	建設局	所管課	河川水路課	分類	D 建設・整備事業			
10	基本計画	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ~Resilient~			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを					
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.5,11.b					
	との関連	取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進				主な取組	住宅、公共施設、都市インフラの災害対策の推進					
	事業内容			投入量 (単位: 千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見						
10	・内川排水機場は設置から35年以上が経過していることから、施設の延命化を図るため、長寿命化計画に基づき、各機器の整備・更新を行う。 ・排水ポンプが常に正常な運転ができる状態に保つために、各種点検を行う。			事業費(a)			82,285	122,984	113,970	令和4年度は下記の工事を実施し、長寿命化計画等に基づく各機器の延命化、費用の平準化及び機能の向上を実施した。 なお、財源に国交省からの補助金及び公共施設等適正管理推進事業債(長寿命化事業)を充当し、効果的かつ効率的に事業実施している。  内川排水機場冷却水ポンプ更新工事 内川排水機場3号ポンプ整備工事			
				うち一般財源			53,884	61,184	63,370				
				主な内訳	施設運転監視等委託等			50,459	47,523				47,750
					冷却水ポンプ更新工事			4,200	6,746				0
					内川排水機場3号ポンプ整備工事			0	58,500				0
					内川排水機場1号ポンプ整備工事			0	0				51,000
					その他			27,626	10,215				15,220
				人件費(b)			14,760	14,760	14,580				
年間経費(c)=(a)+(b)			97,045	137,744	128,550								

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-031	事務事業名	一般河川改良事業	所管局	建設局	所管課	河川水路課	分類	D 建設・整備事業	
11	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上				ターゲット	11.5,11.b			
	取組の方向性	①危機対応力の強化			主な取組		住宅、公共施設、都市インフラの災害対策の推進				
	事業内容			投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
<p>【治水対策】</p> <p>一級河川狭間川においては、時間雨量50mm程度の降雨を安全に流下させることを当面の整備目標とし、下流部より順次河道改修工事を進めている。</p> <p>準用河川百舌鳥川においては、時間雨量50mm程度の降雨を安全に流下させることを整備目標とし、上流部の狭あい区間における治水安全度の向上を図ることを目的に、令和元年度より河道改修事業を進めている。</p> <p>【河川管理施設の適正化】</p> <p>河川管理施設の点検・評価結果に基づき、予防保全対策として、本市における一級・二級・準用河川の河床・護岸補修等を実施している。</p>			事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	<p>令和4年度においても、1級河川狭間川、準用河川百舌鳥川の河道改修工事を重点的に実施した。また河川施設の点検・評価結果に基づき、優先順位をつけて効果的かつ効率的に河床・護岸補修工事等を実施した。</p> <p>なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。</p>			
			うち一般財源		16,317	17,984	28,044				
			主な内訳	狭間川改修事業	115,062	118,369	54,000				
				百舌鳥川改修事業	47,056	7,431	80,000				
				河床・護岸補修等	51,644	99,578	48,000				
				急傾斜地崩壊防止工事負担金助成事業	999	1,739	5,000				
				その他	42,257	6,967	93,144				
			人件費(b)		13,120	13,120	12,960				
年間経費(c)=(a)+(b)		270,138	247,204	293,104							
No.	事業番号	019-038	事務事業名	道路・街路交通情勢調査等	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	G 企画・計画策定・調査研究事業	
12	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
<p>国が主体となって実施する全国道路・街路交通情勢調査は、概ね5年間隔で実施してきており、日本全国の道路と道路交通の実態（一般交通量調査、OD調査）を把握し、道路の計画、建設、管理などについての基礎資料として活用している。</p> <p>また、同調査と主要渋滞箇所に係る交差点調査を同時期に行うことで効率的な調査を実施するものである。</p> <p>令和4年度は、令和3年度に実施した交差点調査の結果を踏まえ、主要渋滞箇所の渋滞対策の検討を実施した。</p>			事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	<p>国が主体となって実施する全国道路・街路交通情勢調査の結果を用い、市内の道路網の交通状況を把握するとともに、都市計画道路整備後の交通流の変化等を分析することにより、都市計画道路の整備効果の確認等に活用している。</p> <p>また、渋滞対策検討については、令和3年度の交差点調査を踏まえて検討を行うことで、経費の削減を図っている。</p>			
			うち一般財源		40,090	1,975	8,000				
			主な内訳	調査委託費	40,590	1,975	8,000				
人件費(b)		7,751	7,751	9,309							
年間経費(c)=(a)+(b)		48,341	9,726	17,309							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-039	事務事業名	都市計画道路整備プログラム	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	G 企画・計画策定・調査研究事業		
13	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主要取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化					
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見					
	都市計画道路整備プログラムは概ね5年ごとにプログラムの見直しを行うこととしている。令和4年度は、社会情勢や庁内施策との整合性の確認を実施した。			事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	都市計画道路整備プログラムは、都市計画決定済みの道路について、優先して整備着手すべき路線と時期を示し、限りある財源の中で、効果的かつ効率的な道路整備を実施することを示すものである。			
				うち一般財源		12,342	0	0				
				主 な 内 訳	調査委託費		12,342	0				0
人件費(b)				7,751	7,751	9,309						
年間経費(c)=(a)+(b)		20,093	7,751	9,309								
No.	事業番号	019-044	事務事業名	諏訪森神野線 (延伸)	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業		
14	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主要取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化					
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見					
	慢性的な交通渋滞の要因である鉄道交差部の構造を改善し、幹線道路と接続することで、円滑な交通の確保を行う。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：平成4年5月29日～令和5年3月31日 事業区間：西区宮下町～西区神野町 路線延長：L=1,050m 道路幅員：W=18m 車線数：2車線 JR立体交差 1箇所 令和4年度は、当該事業区域の付帯工事として周辺整備工事や関係地権者との用地処理を行った。			事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	令和5年度に用地処理を効率的に行うための擁壁等周辺整備工事を行った。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：98%			
				うち一般財源		130,938	22,598	37,940				
				主 な 内 訳	工事費		118,716	8,306				12,600
					用地費		1,020	443				24,000
					測量等委託費		4,533	2,566				1,000
					物件移転補償金		2,450	1,087				0
その他				4,219	10,196	340						
人件費(b)		7,751	5,783	9,309								
年間経費(c)=(a)+(b)		138,689	28,381	47,249								

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-045	事務事業名	南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区）	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
15	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主要取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容					投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	本市の環状道路ネットワークの形成により、並行する常磐浜寺線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和するとともに、物流の効率化や商業立地を促進するもの。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和33年1月25日 事業認可：平成27年2月23日～令和9年3月31日 事業区間：北区金岡町～東区白鷺町 路線延長：L=1,850m 道路幅員：W=22～45m 車線数：4車線 令和4年度は、用地取得を行い、道路詳細設計、地質調査等を進めた。					事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	地権者の事情を配慮した説明、交渉を行い着実に用地取得を進めた。 また、令和4年度から2ヶ年にわたる道路詳細設計業務を効率的に進めるために、地質調査業務を実施した。 なお、財源に国交省からの補助金等を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：69%（令和4年度 19%増）
						うち一般財源		99,884	20,057	16,895	
						主な 内 訳	工事費	823	0	500	
							用地費	379,979	56,113	0	
							測量等委託費	95,157	22,048	238,400	
							物件移転補償金	18,174	4,985	0	
その他							412	2,727	1,100		
人件費(b)						7,751	10,703	9,309			
年間経費(c)=(a)+(b)		502,296	96,576	249,309							
No.	事業番号	019-046	事務事業名	新家日置荘線（延伸）	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
16	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主要取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容					投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	国道310号と南海高野線初芝駅を東西に結び、駅西側に駅前広場を設けることで、駅西周辺地区から駅へのアクセスの向上を図り、現在、初芝駅東側に集中している駅利用者の交通混雑を緩和する。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和40年7月29日 事業認可：平成13年2月9日～令和5年3月31日 事業区間：東区野尻町～東区日置荘西町 路線延長：L=389m 駅前交通広場A=3,300㎡ 道路幅員：W=16m 車線数：2車線 令和4年度は、道路工事をを行い、9月に全線開通した。					事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	周辺住民との調整等を円滑に進め、道路築造工事を着実に推進したことで、令和4年9月に本路線が供用を開始し、駅西周辺地区から駅へのアクセス向上を図ることができた。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：100%
						うち一般財源		12,532	14,244	500	
						主な 内 訳	工事費	71,722	70,046	2,000	
							用地費	30,146	0	0	
							測量等委託費	0	4,570	0	
							物件移転補償金	44,461	0	0	
その他							48	329	0		
人件費(b)						7,751	7,751	9,309			
年間経費(c)=(a)+(b)		154,128	82,696	11,309							



事業概要一覧表

No.	事業番号	019-047	事務事業名	錦浜寺南町線	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業		
17	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
		事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
国道26号、府道堺阪南線の慢性的な渋滞を緩和し、生活道路への通過交通を抑制する。また、津波避難の指定地域であることから、緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：令和2年3月12日～令和9年3月31日 事業区間：西区浜寺石津町東～西区浜寺船尾町西 路線延長：L=534m 道路幅員：W=25m 車線数：2車線 橋梁 1橋（橋長56.0m） 令和4年度は、橋梁設計業務の発注準備を行った。			事業費(a)			R3決算	R4決算	R5予算	令和5年度橋梁予備設計業務の早期発注に向け、条件整理等の発注準備を行った。 用地取得率：100%			
			うち一般財源			0	0	10,300				
			主な 内 訳	工事費			0	0				300
				用地費			0	0				0
				測量等委託費			0	0				10,000
				物件移転補償金			0	0				0
				その他			0	0				0
			人件費(b)			5,783	5,783	9,309				
年間経費(c)=(a)+(b)			5,783	5,783	19,609							
No.	事業番号	019-048	事務事業名	草尾南野田線	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業		
18	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
		事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
国道310号から南海高野線北野田駅へのアクセス機能向上と地域の交通ネットワークの強化を図る。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和40年7月29日 事業認可：平成26年5月28日～令和6年3月31日 事業区間：東区草尾～東区西野 路線延長：L=723m 道路幅員：W=18m 車線数：2車線 令和4年度は、用地取得及び物件調査等を行った。			事業費(a)			R3決算	R4決算	R5予算	地権者の事情を配慮した説明、交渉を行い、着実に用地取得を進めた。 また、令和5年度の用地取得を効率的に進めるため、丈量測量や地権者への事前説明を行った。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：82%（令和4年度 1%増）			
			うち一般財源			7,727	25,238	28,430				
			主な 内 訳	工事費			97	1,562				10,500
				用地費			0	15,370				0
				測量等委託費			7,620	7,386				17,000
				物件移転補償金			0	0				0
				その他			10	920				930
			人件費(b)			7,751	7,751	9,309				
年間経費(c)=(a)+(b)			15,478	32,989	37,739							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-049	事務事業名	大阪河内長野線（南余部・北野田地区）	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業		
19	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容					投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	府道大阪狭山線のバイパス道路として、交通分散を図り、渋滞緩和に寄与する。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和45年8月17日 事業認可：平成25年2月15日～令和3年3月31日 事業区間：美原区南余部～東区北野田 路線延長：L=500m 道路幅員：W=35m 車線数：4車線 橋梁 1橋（橋長23.4m） 令和4年度は、事業に不要となった残地の処分を行った。					事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	事業区域外も含めて買収した土地について、道路供用により不要となったため、隣接地権者へ、早期に売払ったことにより、維持管理範囲の縮減、固定資産税等の税源及び財産売払い収入などの歳入確保に取り組んだ。  払下実績：宅地 6.82㎡	
						うち一般財源		230	0	3,000		
						主な 内 訳	工事費		0	0		2,500
							用地費		0	0		0
							測量等委託費		0	0		0
							物件移転補償金		0	0		0
その他							230	0	500			
人件費(b)						3,815	3,815	9,309				
年間経費(c)=(a)+(b)		4,045	3,815	12,309								
No.	事業番号	019-050	事務事業名	阪神高速道路(株)の事業に対する出資金	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	B 法定義務等事業		
20	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容					投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	(独)日本高速道路保有・債務返済機構に対し、現在事業中の阪神高速道路の新設・改築に要する費用の一部を独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法に基づき出資している。					事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	(独)日本高速道路保有・債務返済機構に対し、現在事業中の阪神高速道路の新設・改築に要する費用の一部を独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法に基づき出資している。本出資により阪神高速淀川左岸線 2期工事の推進に寄与している。	
						うち一般財源		77,000	38,000	7,000		
						主な 内 訳	出資金		7,700	3,800		700
									77,000	38,000		7,000
人件費(b)						6,111	6,111	9,309				
年間経費(c)=(a)+(b)		83,111	44,111	16,309								

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-052	事務事業名	大阪河内長野線（八下地区）	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
21	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
		事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
府道大阪狭山線は十分な歩行者空間が確保されておらず、自動車交通も混雑している状況であることから、この課題を早期に解消するため、特に渋滞が多発している野遠石原町交差点南側において道路拡幅を実施するものである。 都市計画決定：昭和45年8月17日 事業認可：平成28年3月29日～令和8年3月31日 事業区間：東区八下町 路線延長：L=220m 道路幅員：W=35m 車線数：4車線 令和4年度は、電線共同溝の詳細設計、物件調査及び用地再取得を行った。			事業費(a)			R3決算	R4決算	R5予算	渋滞解消を目的とした道路の先行整備の令和5年度着手に向けた警察との協議及び、電線共同溝の詳細設計業務を実施した。また、円滑な用地取得の推進に向け地権者との協議を行い、支障物件調査を実施した。 なお、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：55%		
			うち一般財源			310,730	49,145	22,210			
			主な 内 訳	工事費			0	0			10,500
				用地費			219,926	41,003			0
				測量等委託費			15,406	7,040			11,400
				物件移転補償金			74,902	0			0
				その他			496	1,102			310
			人件費(b)			7,751	7,751	9,309			
年間経費(c)=(a)+(b)			318,481	56,896	31,519						
No.	事業番号	019-053	事務事業名	大阪河内長野線（北野田地区）	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
22	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
		事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
本市東部地域の軸となる幹線道路の整備により、並行する国道309号や府道大阪狭山線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和し、交通環境の改善を図る。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高め、火災時の延焼遮断機能の強化を図る。 都市計画決定：昭和45年8月17日 事業認可：令和2年3月6日～令和9年3月31日 事業区間：東区北野田地区内 路線延長：L=670m 道路幅員：W=35m 車線数：4車線 令和4年度は、用地測量を行った。			事業費(a)			R3決算	R4決算	R5予算	地権者へ事業認可取得に伴う法的制限や用地取得についての事業説明会を実施した結果、地権者からの同意を得て用地測量及び境界確定立会を実施することができた。 なお、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：0%		
			うち一般財源			0	983	27,329			
			主な 内 訳	工事費			0	0			300
				用地費			0	0			0
				測量等委託費			0	983			26,409
				物件移転補償金			0	0			0
				その他			0	0			620
			人件費(b)			5,783	5,783	9,309			
年間経費(c)=(a)+(b)			5,783	6,766	36,638						

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-054	事務事業名	大阪和泉泉南線（南陵町交差点）	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業		
23	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主要取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	当該交差点南側の北行車線の車線数を増設することで、渋滞緩和及び交通事故の抑制を図る。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：平成29年3月9日～令和9年3月31日 事業区間：堺区霞ヶ丘町1丁ほか 延長：L=131m 道路幅員：W=22m 車線数：4車線 令和4年度は、管理用地の整備工事を実施した。			事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	防草対策等の効果発現に向けた管理用地整備工事を実施することで、効率的に管理用地の維持管理を行うことができた。 用地取得率：30%			
				うち一般財源		89,211	2,093	4,010				
				主な 内 訳	工事費		0	1,287				300
					用地費		68,171	0				0
					測量等委託費		4,003	806				3,400
					物件移転補償金		17,007	0				0
その他					30	0	310					
人件費(b)				5,783	5,783	9,309						
年間経費(c)=(a)+(b)		94,994	7,876	13,319								
No.	事業番号	019-056	事務事業名	交通安全施設設置（道路整備課）	所管局	建設局	所管課	道路整備課	分類	D 建設・整備事業		
24	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	3.6				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主要取組	道路の交通安全対策の推進				
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
	交通安全についての対策が必要な道路や踏切道の安全性向上等を目的とし、歩道設置や踏切改良等を実施する。 令和4年度は、2路線の設計業務等を行った。			事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	綿密な調査に基づき、適切な設計手法の検討や整備の影響範囲を必要最低限とすることで、効果的・効率的に事業を実施している。			
				うち一般財源		29,483	9,284	47,600				
				主な 内 訳	設計、測量等		6,302	3,628				31,600
					工事費		7,511	2,398				14,500
					用地補償費		15,667	3,258				1,000
					負担金		0	0				0
その他					3	0	500					
人件費(b)				9,840	13,706	12,023						
年間経費(c)=(a)+(b)		39,323	22,990	59,623								

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-057	事務事業名	直轄国道負担金	所管局	建設局	所管課	道路整備課	分類	B 法定義務等事業		
25	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主要取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化					
	事業内容			投入量 (単位: 千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見					
25	地方財政法第17条の2の規定及び道路法第53条等に基づき、直轄国道（国道26号）で実施する事業について負担金を支出する。 （主な事業） 住吉橋架替事業、電線共同溝事業等			事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	本事業は、直轄国道（国道26号）で実施する事業に対して一定割合の費用を負担するものであり、国が計画的に事業を実施している。			
				うち一般財源		311,820	420,500	410,000				
				負担金		1,920	1,000	1,000				
				主な 内 訳			311,820	420,500				410,000
				人件費(b)		820	820	820				
年間経費(c)=(a)+(b)		312,640	421,320	410,820								
No.	事業番号	019-058	事務事業名	一般道路新設改良（道路整備課）	所管局	建設局	所管課	道路整備課	分類	D 建設・整備事業		
26	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	3.6				
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主要取組		道路の交通安全対策の推進					
	事業内容			投入量 (単位: 千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見					
26	生活道路及び幹線道路について、道路を新設・拡幅することで、利便性、快適性及び安全性を向上させる。 令和4年度は、3箇所道路拡幅を行った。			事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	綿密な調査に基づき、適切な設計手法の検討や整備の影響範囲を必要最低限とすることで、効果的・効率的に事業を実施している			
				うち一般財源		156,599	167,300	219,709				
				主な 内 訳	工事設計、測量等委託		21,998	30,787				44,009
					工事費		24,886	47,458				58,800
					用地費・補償費		99,634	103,118				140,000
					その他（役務費、需用費、負担金）		32,063	16,424				19,000
						16	300	1,909				
人件費(b)		40,180	40,180	31,980								
年間経費(c)=(a)+(b)		196,779	207,480	251,689								

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-061	事務事業名	南海本線連続立体交差事業	所管局	建設局	所管課	連続立体推進課	分類	D 建設・整備事業		
27	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主要取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化					
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見					
鉄道高架延長：約2.7km 踏切除却数：7箇所 高架化される駅：諏訪ノ森駅、浜寺公園駅 概算事業費：約423億円  令和4年度実施内容 ・鉄道仮線工事（高石接続部を除く仮上り線への切替完了）、一部高架工事 ・占用物移設工事 ・鉄道事業者と連携し、地域住民への周知、説明を実施			事業費(a)			R3決算	R4決算	R5予算	・事業スケジュールに基づき、鉄道事業者や関係者と調整を十分に 行い、概ね予定通りの工事進捗を確保することができた。 ・工事進捗に応じた関連工事の一体施工などの創意工夫とあわせ て、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業 に取り組むことができた。			
			うち一般財源			1,368,638	3,654,379	5,783,359				
			主 な 内 訳	鉄道事業者施行及び 占用物件負担金			755,000	3,172,120				5,388,734
				物件移転補償金			512,413	318,017				180,000
				公有財産購入費			0	0				0
				工事請負費			28,899	47,633				30,800
				その他			72,326	116,609				183,825
			人件費(b)			36,400	36,400	44,100				
年間経費(c)=(a)+(b)			1,405,038	3,690,779	5,827,459							
No.	事業番号	019-062	事務事業名	南海高野線連続立体交差事業	所管局	建設局	所管課	連続立体推進課	分類	D 建設・整備事業		
28	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主要取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化					
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見					
鉄道高架延長：約3.2 km 踏切除却数：10箇所 高架化される駅：浅香山駅、堺東駅  令和4年度実施内容 ・事業着手 ・事業認可説明会 ・鉄道と用地買収に関する調査設計 ・用地測量 ・物件調査			事業費(a)			R3決算	R4決算	R5予算	・令和3年度末に事業認可を取得し、令和4年度から事業に着手 しており、感染症対策を十分に実施したうえで事業認可取得に伴う 法的制限や用地取得についての説明会や個別説明を行うことがで きた。 ・測量や物件調査を進め、地権者の事情に配慮した説明を行うこ とで、着実に事業用地の取得を進めることができた。また、早期に工 事着手できるように鉄道事業者との協議・調整を行い、鉄道工事 に関する調査設計を進めることができ、効率的に事業を進めてい る。			
			うち一般財源			82,523	132,753	207,000				
			主 な 内 訳	工事設計、測量及び 地質調査等委託業務			72,300	84,300				87,000
				支障物件調査業務			9,790	10,107				60,000
				用地測量等業務			0	35,800				38,000
				その他委託料			0	942				6,500
				その他			433	1,604				15,500
			人件費(b)			41,000	43,500	43,100				
年間経費(c)=(a)+(b)			123,523	176,253	250,100							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-063	事務事業名	出島百舌鳥線	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業		
29	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ~Resilient~			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主要取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
		事業内容			投入量 (単位: 千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
来訪者や道路利用者の利便性向上と、駅前広場整備による交通結節点機能の向上及び安全で快適な駅前空間、歩道と車道を分離し、安全で快適な歩行者空間の確保を図る。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：平成28年3月30日～令和10年3月31日 事業区間：堺区百舌鳥夕雲町ほか 路線延長：L=450m 道路幅員：W=16m 駅前広場：A = 2,460㎡ 車線数：2車線 令和4年度は、物件調査及び仮設の歩道整備工事を行った。			事業費(a)			R3決算	R4決算	R5予算	早期整備に向け、地権者の事情を配慮した説明、交渉を行い、支障物件調査等を実施した。 世界遺産である仁徳天皇陵の玄関口となる駅前広場の整備を推進するため、事業用地を利用して景観に配慮した仮設歩道整備工事を実施した。 なお、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率（駅前広場）：49%（令和4年度0%、ただし、令和5年度土地取得に向けた内諾1件）			
			うち一般財源			112,207	25,328	16,063				
			主な 内 訳	工事費			12,283	10,128				3,978
				用地費			286	4,347				2,000
				測量等委託費			34,250	0				0
				物件移転補償金			20,342	20,893				13,730
				その他			57,045	0				0
			人件費(b)			284	88	333				
年間経費(c)=(a)+(b)			5,783	5,783	9,309							
			117,990	31,111	25,372							
No.	事業番号	019-068	事務事業名	公園施設管理事業	所管局	建設局	所管課	公園監理課	分類	D 建設・整備事業		
30	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ~Resilient~			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7				
		取組の方向性	③新技術や民間技術力の活用				主要取組	民間活力を活用した魅力的な公園の運営				
		事業内容			投入量 (単位: 千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
都市環境の良好な景観の形成に寄与し、公園を快適に利用頂くため、既存の施設や樹木等については適切かつ効率的な維持管理・保全を行う。また、行政主導による維持管理中心の公園管理から、多様な主体との連携・協働による経営的視点・利用者の視点に立って、都市公園の管理運営を戦略的に推進する公園管理への転換を図る。公園の維持管理費を縮減し、より質の高い公園サービスを公園利用者に提供することで、公園の活性化を図る。 【令和4年度の実施内容】 ・樹木剪定や清掃等の維持管理業務、公園施設の修繕や改修工事、公園管理に要する光熱水費等 ・P-PFI事業の推進、指定管理による施設運営、公園愛護会活動支援			事業費(a)			R3決算	R4決算	R5予算	・競争入札による電気使用料の縮減（令和元年度より継続）等、維持管理費用の縮減を実施している。 ・原池公園では、民間資金による公園施設の整備や本格的な運用が開始され、本市の財政負担を軽減した中で公園利用者の利便向上や公園利用者数の増加が図れたほか、新たな歳入の確保も実現している。また、区民まつりや地域イベントが開催されるなど、地域の活性化にも寄与している。			
			うち一般財源			1,987,044	1,996,754	2,222,670				
			主な 内 訳	維持管理業務等			1,824,023	1,702,338				1,775,232
				施設修繕・改修等			982,975	987,557				1,045,715
				その他維持管理経費			414,630	368,478				471,642
				指定管理料等			242,836	268,672				327,519
				公園愛護会関連事業費			212,334	244,200				247,794
			人件費(b)			134,269	127,847	130,000				
年間経費(c)=(a)+(b)			323,770	323,970	320,190							
			2,310,814	2,320,724	2,542,860							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-074	事務事業名	堺市緑の政策審議会	所管局	建設局	所管課	公園緑地整備課	分類	F 審議会・協議会等運営事業		
31	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ~Resilient~			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(15)陸の豊かさも守ろう				
	2025 の施策 との関連	施策	(3) ゼロカーボンシティの推進				ターゲット	15.1,15.2,15.5				
	取組の方向性	④生態系や緑の保全			主な取組		都市緑化の推進					
	事業内容					投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性)に係る所見			
	本審議会は、委員14人（市議会議員2人、学識経験者7人、市長が適当と認める者5人）で組織されており、市長の諮問を受けて、緑の基本計画その他緑の保全と創出に関する重要事項について、調査、審議を行うものである。 【令和4年度の実施内容】 ・令和4年7月19日 第1回審議会開催（堺市緑の基本計画改定に関する中間報告、水賀池公園の都市計画変更） ・令和4年10月24日 第2回審議会開催（堺市緑の基本計画改定の素案について） ・令和5年3月1日 第3回審議会開催（堺市緑の基本計画改定について（答申案）、堺市緑の基本計画における各取組事業の進捗確認について）					事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	・第1回審議会:出席委員 11/14人（うち1人はオンライン参加）、会議時間 1時間10分 ・第2回審議会:出席委員 9/14人、会議時間 1時間00分 ・第3回審議会:出席委員 11/14人、会議時間 1時間30分 ・堺市緑の基本計画改定に向けて、計画の内容について、各委員からご意見をいただき、パブリックコメントを実施することができた。 ・パブリックコメントで寄せられた意見について、各委員からご意見をいただき、市の考え方を示し、R4年度内に堺市緑の基本計画を改定することができた。 ・各委員への事前説明について、WEB会議を利用して行うことでペーパーレス化に寄与した。また、事前説明により、各委員との調整を適切に行うことで、円滑な審議会の運営に努めた。	
						うち一般財源		167	414	814		
						主な内訳	堺市緑の政策審議会委員報酬		112	316		714
							印刷製本費		0	98		100
							筆耕翻訳料		55	0		0
人件費(b)						8,200	8,200	8,100				
年間経費(c)=(a)+(b)		8,367	8,614	8,914								
No.	事業番号	019-096	事務事業名	道路橋りょう維持	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業		
32	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ~Resilient~			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7				
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進					
	事業内容					投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性)に係る所見			
	道路の清掃や除草、街路樹の管理、道路上にある土木施設の維持・管理・修繕等を行う。  (令和4年度実績) 路面清掃延べ延長 12,639km					事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	樹木管理や清掃等の委託業務について、剪定や清掃回数の見直しを行った。また、対象路線の見直しを行い維持管理コストの削減を図ることで、効率的に事業を実施している。 なお、安全・安心に通行できる道路機能を確保するため、引き続き当該事業を行っていく必要がある。	
						うち一般財源		1,927,413	1,884,907	1,975,540		
						主な内訳	道路清掃、街路樹管理等の管理費		755,024	734,276		817,617
							街路灯、防護柵等修繕料		1,086,215	1,071,272		1,150,748
							側溝等整備工事費		613,878	622,565		627,892
									227,320	191,070		196,900
人件費(b)						376,800	380,400	376,200				
年間経費(c)=(a)+(b)		2,304,213	2,265,307	2,351,740								



事業概要一覧表

No.	事業番号	019-097	事務事業名	道路管理	所管局	建設局	所管課	路政課	分類	B 法定義務等事業	
33	基本計画	戦略	—			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	—			
	2025 の施策	施策	—				ターゲット	—			
	との関連	取組の方向性	—				主な取組	—			
	事業内容				投入量 (単位：千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見		
	道路法に基づく、各種手続き、許可並びに道路敷地の財産管理等を行う。 ①道路敷地の取得・処分に関し、登記・契約等の財産管理に伴う事務 ②沿道敷地所有者との協議により、管理する道路の区域を確定 ③道路の認定、廃止等に係る議会上程手続き及び議決後の認定・区域決定・供用開始等の告示事務 ④道路認定等の告示内容に基づき、道路台帳 (調書・図面) 記載事項の修正を行い、道路台帳を整備 ⑤電気・ガス・水道等のライフラインを始めとする道路占用物件の許可事務				事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	道路台帳の整備や道路占用許可などの手続きについて、道路台帳管理システムなど各種システムを活用し、事務の効率化を図っている。道路台帳に係るデータは普通交付税等の算出に用いる基礎数値とされている。交付税検査をはじめとした各種照会等に対応した仕様とすることで本市の回答及びその根拠資料を迅速かつ正確に提出できるようにしている。 道路の利活用として、歩道橋ネーミングライツ・パートナー事業を実施し、歳入確保をすすめている。当事業にかかる令和4年度の歳入は2,112千円であった。	
					うち一般財源		90,777	98,657	115,716		
					主な内訳	道路台帳修正委託料	50,050	50,600	51,070		
						公共用地調査測量等事務	0	2,924	8,326		
						道路占用物件管理システム改修	968	0	5,610		
						道路交差情報提供業務	5,665	5,660	5,670		
その他の運営に係る事務経費等					34,094	39,473	45,040				
人件費(b)		167,417	172,200	153,900							
年間経費(c)=(a)+(b)		258,194	270,857	269,616							
No.	事業番号	019-098	事務事業名	常磐浜寺線	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
34	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	との関連	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
	事業内容				投入量 (単位：千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見		
本市の環状道路ネットワークの形成により、並行する南花田鳳西町線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和するとともに、物流の効率化や商業立地を促進するもの。また、津波避難対象地域における避難路の役割を担う路線であるため、地域の防災性向上に寄与する。 都市計画：昭和21年5月22日 決定 事業認可：令和元年9月19日～令和10年3月31日 事業区間：西区浜寺諏訪森町東3丁～西区浜寺諏訪森町西4丁 事業延長：L=520m 計画幅員：W29m 車線数：4車線 令和4年度は、用地取得等を行った。				事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	連続立体交差事業と一体的な整備を進めることで事業効果の早期発現が見込めるため、南海本線及び阪堺線と交差する事業区間などの用地取得を進めた。また、地権者の事情を配慮した説明、交渉を行い、用地取得及び支障物件調査を実施した。 なお、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：29% (令和4年度 15%増)		
				うち一般財源		47,447	143,184	50,765			
				主な内訳	工事費	0	0	500			
					用地費	7,960	64,649	40,000			
					測量等委託費	22,624	23,496	9,015			
					物件移転補償金	16,863	52,654	0			
					その他	0	2,385	1,250			
人件費(b)		9,063	9,063	9,309							
年間経費(c)=(a)+(b)		56,510	152,247	60,074							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-099	事務事業名	諏訪森神野線（浜寺・浜寺東地区）	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
35	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	主要幹線道路との連携による道路ネットワークの形成により、生活道路への通過交通の抑制が図られるとともに、平行する道路の交通渋滞の緩和など交通処理機能の向上が図られ、災害時の活動など、防災機能の向上にも寄与する。 都市計画：昭和21年5月22日 決定 事業認可：令和4年3月4日～令和12年3月31日 事業区間：西区浜寺諏訪森町西1丁～西区浜寺諏訪森町東1丁 事業延長：L=569m 車線数：2車線 令和4年度は、用地測量業務の設計、発注を行った。			事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	地権者へ事業認可取得に伴う法的制限や用地取得についての事業説明会を実施した結果、地権者の同意を得て用地境界確定のための測量を開始することが出来た。 用地取得率：0%		
				うち一般財源		697	0	11,128			
				主な 内 訳	工事費	0	0	300			
					用地費	0	0	0			
					測量等委託費	697	0	10,800			
					物件移転補償金	0	0	0			
その他					0	0	28				
人件費(b)				7,751	5,783	9,309					
年間経費(c)=(a)+(b)		8,448	5,783	20,437							
No.	事業番号	019-101	事務事業名	公園施設長寿命化修繕事業	所管局	建設局	所管課	公園監理課	分類	D 建設・整備事業	
36	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
	取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進			主な取組		公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進				
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	今後、急速に老朽化が進んでいく公園施設に対して、アセットマネジメント手法を取り入れた堺市公園施設長寿命化計画に基づき、計画的・効率的な公園施設の維持管理を推進し、公園利用者が安全・安心で快適に利用できる環境を確保する。			事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	・公園施設長寿命化計画に基づき、計画的・効果的に公園施設の改修等を実施した。また、交付金等を活用することで本市の歳出を削減することができた。 ・各公園施設の重要度や規模等により、「予防保全を図る施設」と「事後保全とする施設」に区分し、計画的、効率的な維持管理を行うことで、公園施設の安全性や快適性を確保するとともに、維持管理費の平準化及びライフサイクルコストの削減を図っている。		
				うち一般財源		247,177	330,957	339,218			
				主な 内 訳	設計業務	55,247	25,445	25,000			
					整備工事費	176,057	292,525	279,218			
					各種調査・計画策定	15,873	12,987	35,000			
人件費(b)				41,000	41,000	40,500					
年間経費(c)=(a)+(b)				288,177	371,957	379,718					

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-109	事務事業名	河川水路維持（河川水路課）	所管局	建設局	所管課	河川水路課	分類	D 建設・整備事業	
37	基本計画	戦略	—			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	—			
	2025 の施策	施策	—				ターゲット	—			
	との関連	取組の方向性	—				主な取組	—			
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	管理河川及び水路を良好な状態に保ち、安全で快適な河川環境を保全するため、構造物の修繕及び除草・清掃・しゅんせつ等を行う。  【令和4年度実績】 除草等業務：10河川 浚渫等業務：2河川3水路 点検業務：2河川			事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	樹木管理や清掃等の委託業務について、令和3年度の実績を踏まえ令和4年度発注内容の見直しを行い、必要事項の整理・調整により事業効果の向上を図った。 また河川点検結果より事前補修箇所の抽出を行い、今後の維持補修費用の平準化を図った。		
				うち一般財源		82,329	73,465	99,131			
				主な内訳	内川ほか樹木管理業務	11,092	12,619	12,000			
					狭間川ほか樹木管理業務	13,744	11,641	13,000			
					大仙水路ほか道路排水施設等清掃業務	9,520	9,405	11,000			
					管理河川点検業務	4,598	5,390	6,000			
その他				43,375	34,410	57,131					
人件費(b)		19,680	19,680	19,440							
年間経費(c)=(a)+(b)		102,009	93,145	118,571							
No.	事業番号	019-110	事務事業名	泉北ニュータウン街路樹更新事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
38	基本計画	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力～Attractive～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策	施策	(5) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造				ターゲット	11.7			
	との関連	取組の方向性	②豊かな緑空間と多様な都市機能の調和				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
泉北ニュータウン内において、倒木の危険性や、通行障害、景観機能の低下等が見られる老木化した街路樹の更新を行う。  （更新対象路線）約80路線（区間） （更新対象本数）約6,000本			事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	令和4年度は、街路樹の更新等を231本実施した。現在の事業進捗は約29%である。当該事業を行うことで、毎年、委託業務発注を行っている街路樹の剪定本数や除草面積の削減ができ、維持管理コストの縮減を図ることができた。 今後も引き続き当該事業を推進する必要がある。			
			うち一般財源		36,041	35,116	36,000				
			主な内訳	街路樹更新工事	36,041	35,116	36,000				
			人件費(b)		4,100	4,100	4,050				
年間経費(c)=(a)+(b)		40,141	39,216	40,050							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-112	事務事業名	大和川線周辺整備事業	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業		
基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ~Resilient~				SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを				
	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築					ターゲット	11.2				
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備					主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
事業内容					投入量 (単位: 千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
39	阪神高速道路大和川線は令和2年3月に全線供用した。 大和川線周辺において、阪神高速道路(株)が実施している西除川河川復旧工事(阪神高速道路(株)施工)や高規格堤防工事(国施工)等にあわせて、堺市が整備・復旧する必要がある道路工事等を実施する。 令和4年度は、西除川河川復旧に係る調整、水防倉庫の復旧、及び歩道拡幅・車道復旧工事の歩道改良工事の設計、発注を行った。				事業費(a)		R3決算	R4決算	R5予算	令和5年3月に阪神高速道路(株)による西除川河川復旧工事が完成し、遊歩道を供用開始された。 歩行空間の環境改善を早期に図るため、令和4年度は、常磐黒土線の歩道拡幅・車道復旧工事の設計及び発注を行った。 また、地域住民の水防活動の拠点となる東浅香山水防倉庫復旧工事に着手した。		
					うち一般財源		255,868	104,802	340,302			
					主な 内 訳	工事費	193,853	103,371	287,863			
						用地費	0	0	0			
						委託費	61,822	946	954			
						負担金	0	0	50,182			
						事務費	193	485	1,303			
					人件費(b)		19,231	12,999	9,309			
年間経費(c)=(a)+(b)		275,099	117,801	349,611								